

地域密着型サービス 運営推進会議 報告書

事業所名称 … L.C.C.ういんぐ
 サービス種類 … 地域密着型通所介護
 会議開催日 … 令和6年 4月18日(木) 令和6年度第1回
 開催場所 … L.C.C.ういんぐ 多目的ホール
 出席者

事業所	2人	利用者	2人
利用者家族	0人	地域代表者	1人
松江市職員	1人	包括支援センター	0人
知見を有する者	0人	その他(グループホーム職員)	1人

1. 事業所見学

2. 議題

1) 法人・事業所の概要

(1) 敷地内

障がい者施設 持田寮	
事業種名	定員
施設入所	30名
生活介護	35名
短期入所	6名
日中一時	10名

多機能型事業所 L.C.C.ういんぐ	
事業種名	定員
就労継続B型	22名
生活介護 (地域密着型通所介護)	30名 (内3名)
地域活動支援センター	30名

ワークセンター フレンド	
事業種名	定員
就労継続B型	20名
就労定着支援	若干名

放課後等デイサービス ぱすてるぴいす	
定員	10名

相談支援事業所 ひまわり	
--------------	--

(2) 敷地外

居宅介護事業 千鳥福祉会 ケアセンター大空	
事業種名(障がい)	
居宅介護	
行動援護	
同行援護	
移動支援	
事業種名(介護保険)	
訪問介護	
総合事業	

放課後等デイサービス ぱすてる	
定員	10名

共同生活援助事業 千鳥福祉会 つばきの里	
定員	44名
近隣地域にグループホーム7か所	

・感染症の予防及び蔓延防止

○BCP(事業継続計画)の策定

○平時の対応

・平時からの予防対応(検温・手指消毒習慣、定期換気、検査キッドの活用等)

・感染防護具の配備

○研修、訓練の実施(座学研修、ガウンテクニックの実践、吐物処理演習等)

○感染発生時の対応

・接触者待機ルール等運用

・感染状況等情報提供

R5年度コロナ感染者累計								
	持田寮	ういんぐ	フレンド	ホーム	大空	ぼすてる・ひいす	ひまわり	総務
4月	利0職0	利0職0	利0職0	利0職0	利0職1	利0職0	利0職0	職0
5月	利0職0	利0職1	利0職0	利0職0	利0職0	利0職0	利0職0	職0
6月	利0職0	利0職0	利0職0	利0職0	利0職0	利2職0	利0職0	職0
7月	利0職0	利2職2	利0職0	利0職1	利0職0	利1職0	利0職0	職1
8月	利0職0	利7(3)職6	利0職0	利1(3)職0	利0職1	利0職1	利0職0	職0
9月	利0職1	利(1)職0	利0職1	利1(1)職0	利0職1	利2職2	利0職0	職1
10月	利0職0	利0職0	利0職0	利0職1	利0職0	利1職0	利0職0	職0
11月	利0職0	利0職0	利0職0	利0職0	利0職0	利0職0	利0職0	職0
12月	利0職1	利1職0	利0職1	利0職0	利0職0	利0職0	利0職0	職0
1月	利0職0	利0職0	利0職0	利0職1	利0職0	利0職1	利0職0	職0
2月	利0職0	利(2)職0	利1(2)職0	利(4)職0	利(1)職1	利(1)職2	利0職0	職0
3月	利0職0	利(0)職1	利0職0	利0職1	利0職0	利0職0	利0職0	職0
※感染性胃腸炎流行…5月、2月(持田寮)						()は事業所重複利用者		
※インフルエンザ…2月集団感染(持田寮)								

・大規模自然災害に伴うBCP(事業継続計画)

・BCP作成

・福祉避難所指定(松江市と連携)

・災害対策備蓄品等の配備の検討

4) 事業所の課題

○地域とのつながり強化(小さなつながりの積み重ねを強化)

地域ニーズ、福祉分野ニーズの共有等

○地域連携の避難訓練の実施等

○介護保険と障害福祉のつながりにおける共生型の課題

要支援になった障がい者の介護保険サービス(総合事業)がない→直ちに介護保険に移行できない利用者の滞留

地域の一般高齢者へのサービス提供開始時期

5) 意見交換

① 地域代表者

Q: 皆さんが取り組まれる仕事について重要と供給はどんな状況?

A: 作業については箸入れ、箱折りと飲食関係のものが中心でコロナ化で激減しお金に繋がる作業が頂けない月もあり、作業を好まれる方には、練習用を提供していた。

② 地域代表者:

Q: 自然災害について敷地内はどういう状況、敷地下の土地が低い場所の水害はどうであったか?

A: 土砂災害避難区域として持田寮居住スペース一部指定を受けているため、単独での避難訓練を実施している。また、敷地下のファミリーマート付近も土地が低く水害に多々見舞われる。一昨年はホームも床上浸水、付近の住宅の方の一時避難の受け入れも体育館で行った。

地域代表者:

そういった災害を想定した事前準備、避難訓練が重要になってくるので、利用者の方、職員とも意識し継続して取り組んで欲しい。

③ 松江市職員:

Q: 通所介護を利用される方は生活介護の利用の方?

A: 生活介護との併用の方が2名、地域活動支援センターの併用の方が2名現在利用中。

松江市職員:

Q: 高齢者の方が増えているとのことで仕事をしながら休憩したい日に介護保険事業を使うというのは?

A: 地域密着型通所介護の要介護という縛りがかなりきつい。65歳以上で就労継続B型を利用される方については介護度が要支援の方のみ。工賃に繋がる仕事もきつくなってきている。

松江市職員:

Q: 総合事業という考え方もあるのでは。

A: 介護保険事業に移行することで利用者の方の金銭的な負担が増えていることも課題。

ホーム職員:

・所得が発生したことにより、補助がなくなり家賃の負担が増えた方もいる。

松江市職員:

・B型も使いたいけど休みたい日もある。介護保険の事業を使いながら仕事もできるが介護保険を使うことで負担額が増えるというジレンマある。

⑤ 事業所:

・地域の方と利用者の方が繋がるようなことがお互いに出来たらよい。地域と事業所がWinWinな関係作りが出来るとありがたい。

地域代表者:

・お互いに情報共有を行っていけると良い。今度、持田地区で『持田夜市』というお祭りを7月末に予定している。夜からの予定になるが何かの形で参加頂けたら。

利用者:

・お祭りは行きたい、楽しみ。参加したい。夜は難しい。

事業所：

・8月頃にういぐでもお祭りを企画している。

⑥ 事業所：

・求人について、利用者の方のニーズはあるが働き手の確保に困っている。地域とも情報交換をしていきたい。

地域代表者：

・近隣の商業施設でも人が集まらないという話がある。

松江市職員：

・他も同様で中々福祉の現場での働き手は不足している。

⑦ ホーム職員：

・何の活動が好きですか？

利用者A：

・作業が好き。箸入れ作業。

利用者B：

・クラブ活動が好き。ドライブとタブレット。

⑧ ホーム職員：

・またグループホームの方でも地域の方を交えた会議を企画したいと思いますのでお願いしたいと思っていますので、ご協力をお願いします。

地域代表者：

・地域の繋がりがしっかりしていればいろんなことに対応していける。持田地域の世帯カバー率が松江市の中では低くなっており、地域福祉活動計画を作り、推進しているところ。今後は一緒に避難訓練をしたりお互いで協力できることをやっていきたいと考えている。今後ともお話を頂けたら、協力しますのでこちらこそ宜しくお願いします。

※事業所確認欄

<input type="checkbox"/> 活動報告についての評価を受けることができたか。	○
<input type="checkbox"/> 要望・助言等受ける機会を設けたか。	○